福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：211

エアマットの沈み込みからバランスを崩し、転落しそうになる

場面の説明

端座位をとった際、エアマットの空気が流れてしまって、傾斜がついてしまったが大きく沈み込んだため、座位が崩れてベッドから転倒しそうになる

利用シーン	起居・就寝 移乗 立ち座り
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	床ずれ防止用具
分類コード (CCTA95)	033309 (特殊な褥瘡予防装置)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

エアマットは、床ずれを防止するため一般のマットレスとは違いかなり柔らかく、広い面積で身体の重さを支える構造になっています。立ち上がろうと手をついたり、介助者が膝立ちになったりという場面で、一か所に力をかけると大きく沈み込む特性を持っており、座位が崩れてベッドからの転落につながる危険があります。そのような特性をよく理解し、手すりを使った立ち上がり動作を練習するなど、予め安全な使い方を検討しておきましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：エアマットの特徴を理解していなかった
モノ：特定の箇所に圧力が集中するとマットが大きく沈み込む構造だった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.